

第2期

久御山町

子ども・子育て支援プラン

～みんなで支え、育ち合う 笑顔あふれるまち 久御山～

概要版



令和2年3月
久御山町

第2期 久御山町子ども・子育て支援プランとは

久御山町では、すべての子どもの健やかな成長と子育て家庭への支援の充実をめざし、平成27年度から令和元年度までの5年間を計画期間とする「久御山町子ども・子育て支援プラン」を策定し、子育て支援施策を総合的に進めてきました。

子どもや子育て家庭を取り巻く環境の変化や支援ニーズの変化に対応し、引き続き計画的に施策を推進するため、「第2期久御山町子ども・子育て支援プラン」を策定するものです。

計画の位置づけ・計画期間

【法的根拠】 子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として、また次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」として策定するとともに、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく「子どもの貧困対策推進計画」を包含するものとしています。

【本町の位置づけ】 本町の上位計画である久御山町総合計画に則し、保健・医療・福祉・教育等の関連する個別計画と整合を図る計画となります。

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
第1期 子ども・子育て支援プラン					第2期 子ども・子育て支援プラン				
		中間評価		改定			中間評価		改定

5つの基本的視点・計画の基本理念・基本目標

基本的視点

- ① 子どもの人権を尊重する視点
- ② 子どもの未来・久御山町の未来をみつめる視点
- ③ 親子が共に成長し、子育てを楽しめる家庭をつくる視点
- ④ 地域ぐるみで親子の育ちを見守り、相互に育ち合う視点
- ⑤ 多様な子育て支援ニーズへの対応の視点

基本理念

みんなで支え、育ち合う 笑顔あふれるまち 久御山

基本目標

基本目標 1

子どもの健やかな成長と自立への支援

基本目標 3

子どもの安心・安全な生活への支援

基本目標 2

子どもの最善の利益の確保への支援

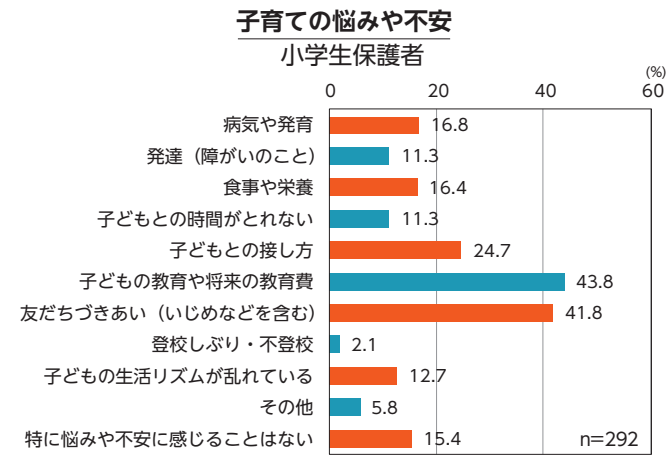
基本目標 4

子育てと仕事・地域生活の両立への支援

学力向上対策事業の実施

現状と課題

町内の保護者アンケートの結果から、5年前に比べて子育て自体に不安や負担を感じる人は減少していますが、子どもに関する悩みについて、小学生の保護者では「子どもの教育や将来の教育費」を挙げる人が最も多く、やはり子どもの教育や学力向上へ関心が高いことがわかります。



※久御山町子ども・子育て支援に関する調査 (H30年度)

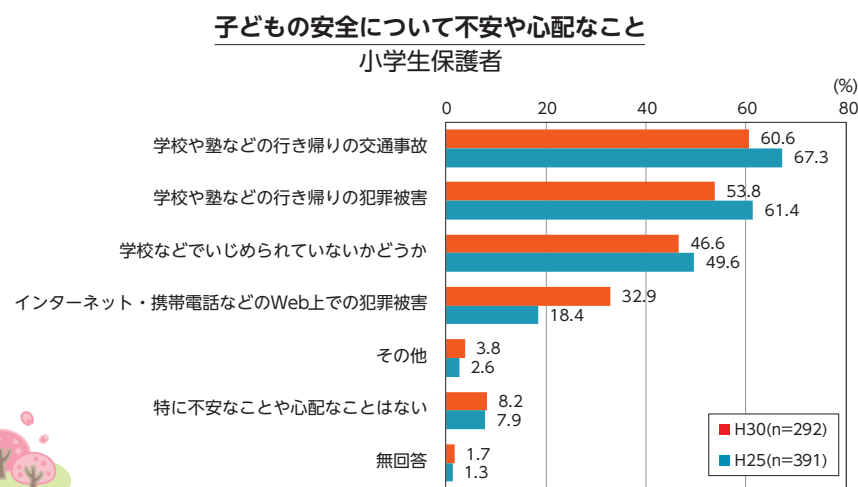
重点事業

すべての児童生徒の基礎学力の定着を図り、希望進路の実現をめざします。小中学校への講師配置、中学生への学習の場の提供などに取り組み、学力の充実・向上を図ります。さらに、町立のこども園、小学校、中学校を「久御山学園」とし、園小中一貫教育を推進して、連続性のある教育体制の確立をめざします。

地域での交通安全施設の計画的な整備

現状と課題

子どもの身の安全についての不安や心配なことでは、「学校や塾などの行き帰りの交通事故」を挙げる人が最も多くなっています。



※久御山町子ども・子育て支援に関する調査 (H25年度・H30年度)

重点事業

久御山町通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して児童生徒が安全に通学できるよう交通安全施設の計画的な整備に努めます。

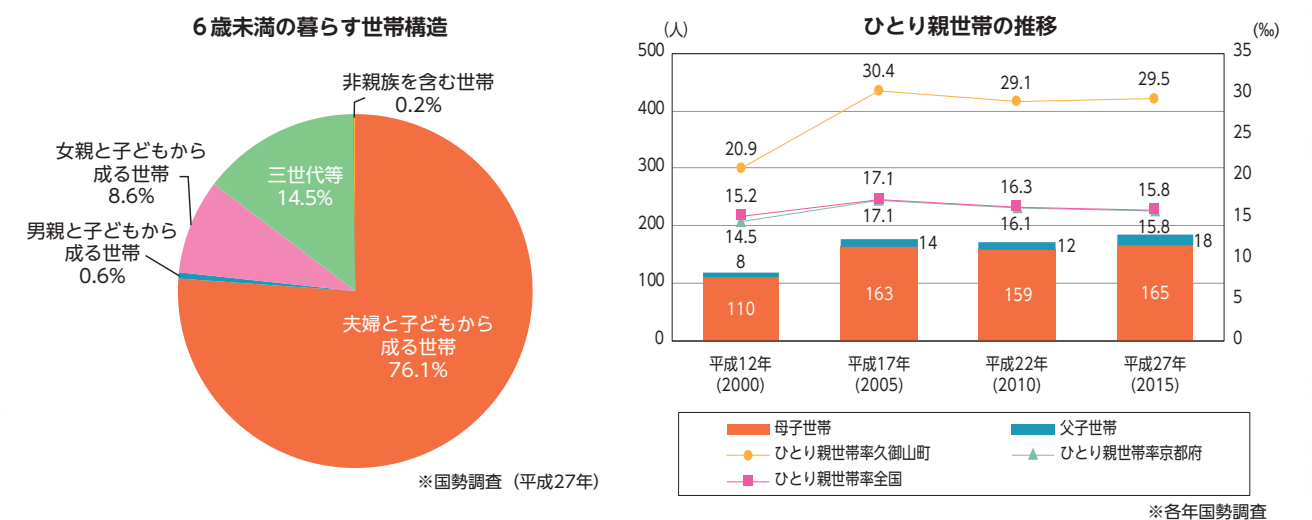
子育て世代包括支援センター機能の充実

現状と課題

本町の18歳未満の子ども人口は、概ねどの年齢層も減少傾向で推移しています。6歳未満の子どもがいる世帯の8割超が核家族であり、ひとり親世帯率も京都府や全国より高くなっています。

また、女性の就業率は、15歳から19歳を除く各年齢層で全国及び京都府水準より高い割合となっており、こども園の2号・3号認定の入園者数も増加を見込んでいるところです。

こうしたなか、子育て家庭の孤立化を防止するためにも、より身近な場所で育児相談できる体制や、支援が必要な子どもへの充実した対応が望まれています。



重点事業

ワンストップで子育て相談や子育てに関わる各種手続きができるよう子育て支援課を設置し、地域支援の拠点となるよう「子育て世代包括支援センター」機能を持たせています。

さらに、子育て世代にとって、より身近な場所である「あいあいホール」にも「子育て世代包括支援センター」機能を拡充することで、子育て支援施策と相談支援を一体的に推進し、子育て家庭への支援の充実をめざします。



あいあいホール

子ども家庭総合支援拠点の整備

現状と課題

児童虐待の相談受付件数が増加しています。

医療機関や学校、児童相談所など関係機関との緊密な連携と情報共有に努めていますが、今後は町としてより直接的・専門的に相談対応できる体制が求められています。

■ 児童虐待相談受付件数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
継続	24	47	71	59
新規	29	37	37	63
計	53	84	108	122

※子育て支援課調べ



重点事業

地域のすべての子どもと、その家族の相談に専門性を持って対応することができる支援の拠点づくりを行います。児童虐待の調整機関である久御山町要保護児童対策地域協議会及び関係機関と連携しながら、切れ目のない継続した支援を行います。

療育教室の充実

現状と課題

身体障害者手帳所持の 18 歳未満の児童は、やや増加しており、平成 30 年で 13 人となっています。療育手帳所持の 18 歳未満の児童は、概ね 40 人前後で推移しており、きめ細かな支援が求められています。



重点事業

発達障害など特別な支援が必要な子どもたちが増加しており、障害も多様化しています。それらの子どもたちのすべてが早期から療育を受けることができ、その家族が我が子の成長に気づき、子育てに自信を持つことができるよう支援の充実に努めます。

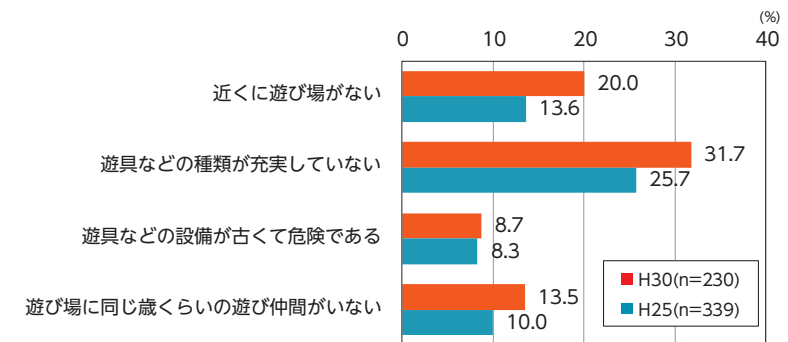
また、より安全で充実した療育を受けることができるよう「全世代・全員活躍まちづくりセンター(仮称)」の整備に合わせ、設備の整った療育環境の確保をめざします。

久御山中央公園の再整備

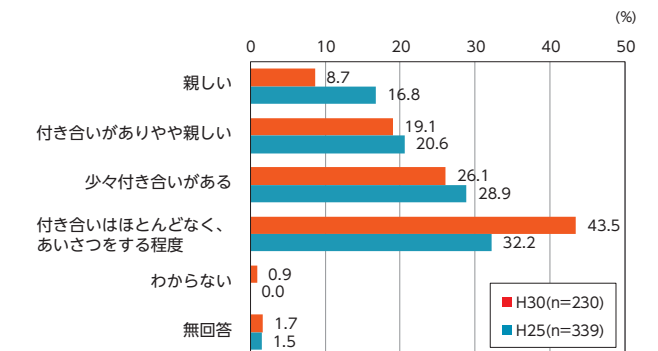
現状と課題

アンケート結果等からは、ご近所との親しい付き合いが減ってきていることや、身近な遊び場を求める声、公園等の設備の充実を求める声が増えていることがわかります。

遊び場で困ること・困ったこと
就学前児童保護者



近所付き合いについて
就学前児童保護者



※久御山町子ども・子育て支援に関する調査 (H25年度・H30年度)



重点事業

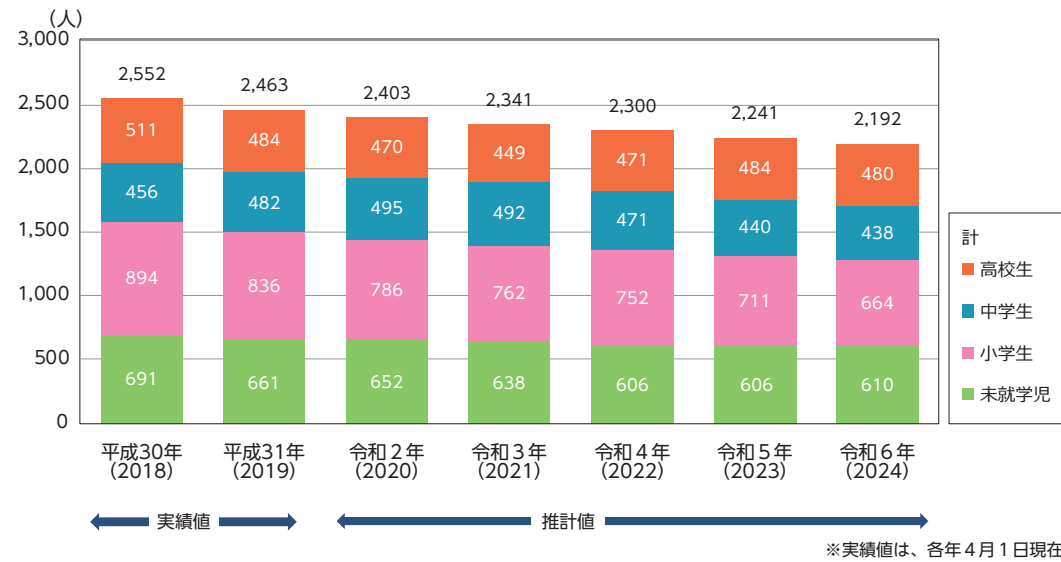
交流と憩いの場を創出する「まちのにわ構想」に基づき、公園としての機能を拡充し、休日に家族で過ごせるもっと子どもが遊べる場所として、久御山中央公園のリニューアルに取り組みます。



教育・保育・子育て支援事業について

将来の子ども人口

未就学児は、平成31年の661人から緩やかに減少した後、令和6年にはやや増加に転じ610人となる見通しです。また、小学生人口は、平成31年の836人から、令和6年には現在の約80%の664人となる見通しです。



幼児期の教育・保育の量の見込みと確保の内容

計画期間における「幼児期の学校教育・保育の量の見込み」は、平成27年度からの実績を基に、計画策定に係るニーズ調査（平成30年度実施）の結果も活用し定めます。町立の認定こども園3園を中心に、保育・教育サービスの充実に努めます。

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
幼児期の教育・保育事業	1号認定【人】	見込量	58	48	40	37	36
	2号認定【人】 (幼稚園等利用希望者)	見込量	11	9	7	7	7
		確保策	109	97	87	84	83
	2号認定【人】 (認定こども園)	見込量	251	251	239	254	273
		確保策	265	251	239	254	273
	3号認定【人】 (0歳児)	見込量	17	17	17	18	18
		確保策	24	17	17	18	18
	3号認定【人】 (1・2歳児)	見込量	112	122	125	127	129
		確保策	112	122	125	127	129

地域子ども・子育て支援事業

すべての子育て家庭を支援するため、家庭で子育てをする保護者も利用できる「一時預かり保育」「地域子育て支援拠点事業」など、地域での様々な子育て支援事業を実施します。

第2期プランでの新たな観点

第2期計画の新たな観点として、次の事項を追加

外国籍の子どもへの支援の充実

本町にお住まいの外国人人口は増えており、今後は外国籍や外国につながる子どもが増えていくことが予想されます。保護者とのコミュニケーションや文化の違いの理解など、それぞれの文化の多様性を尊重し、多文化共生の保育・教育を進めていくことに努めます。

子どもの貧困対策

子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備していきます。

令和元年6月に改正された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」等に基づき、現在の子どもを巡る社会状況等を踏まえて各種事業に取り組みます。

全世代・全員活躍のまち構想との連携

あらゆる世代の住民が、「居場所」と「役割」を持ってつながり、生涯を通じて健康で活躍するという目標に向け、久御山町全体で推進している「全世代・全員活躍のまち構想」ともリンクして進めていきます。

計画の推進

計画の進行管理

この計画を推進するため、住民、学識経験者、保育・教育や子育て支援に関わる団体の代表者等からなる「久御山町子ども・子育て会議」において、年度ごとにPDCAサイクル【Plan（計画）—Do（実施・実行）—Check（検証・評価）—Action（改善）】のプロセスを踏まえた計画の進行管理に努めます。

